



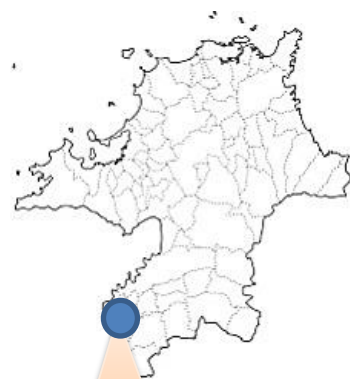
寛政3（1791）年絵図



坂本町遺跡（真上から）

絵図に描かれた区画を発見か？

調査員坂本が坂本町遺跡を掘るシリーズ①

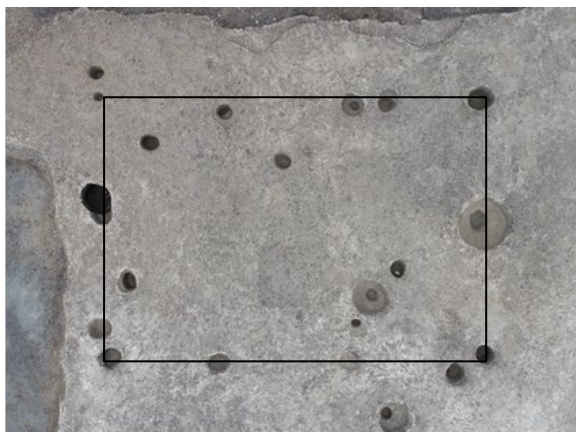


坂本町遺跡

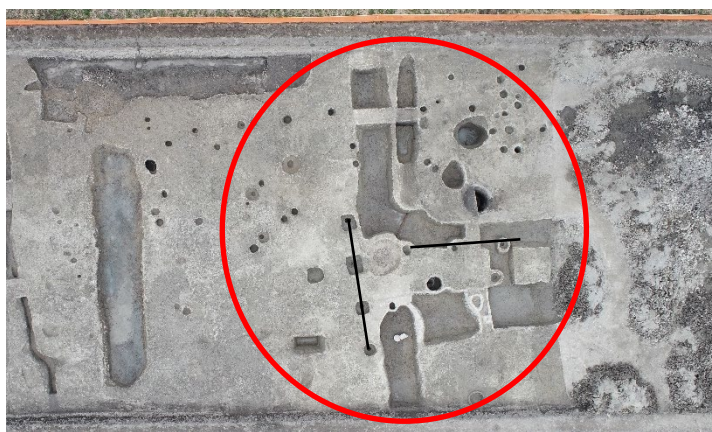
遺跡名と調査担当者名が同じという奇妙な偶然が起こっている今回の坂本町遺跡は、柳川城跡北側にある柳川市坂本町に位置します。寛政3（1791）年の絵図によると、ここは武家屋敷があった場所になります。都市計画道路三橋筑紫橋線の道路建設工事に先立ち、令和4年10月から、発掘調査が始まりました。

調査の結果、遺跡からは江戸時代中期～後期（1700～1900年代）の建物跡や柵・土坑・溝・ピットなどの遺構が発見されました。絵図に赤丸で囲んだ部分では柵と溝の2つの遺構が発見され、これが屋敷と屋敷を区画していたことを示すのではないかと思われます。また遺跡は江戸時代だけではなく、瓦器・白磁碗・青磁皿などが出土した井戸もあり、鎌倉時代から続く古い遺跡であることもわかりました。

なお江戸時代の陶器・磁器などを中心に、パソコンで85箱も出土しました。今後も引き続き調査を行いますので、新しい発見を報告します。（坂本）



建物跡



柵・溝